

# 平成20年度 第1四半期決算 Conference Call

平成20年7月28日  
塩野義製薬株式会社





## 将来見通しに関する注意事項

- ◆本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- ◆それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制機関からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ◆新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- ◆本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



# Agenda

■ 平成20年度 第1四半期決算の概要	ページ
■ 経営成績	3
■ 財政状態	4
■ キャッシュ・フローの状況	5
■ セグメント別売上高	6
■ 損益計算書概要	7
■ 損益計算書の主なポイント	8
■ パイプラインの進捗状況	9
■ パイプライン一覧	10



## 平成20年度 第1四半期決算：経営成績（連結・単体）

（単位：億円）

### <連結>

	20年4-6月 実績	19年4-6月 実績	対前年同期 UP率%
売上高	517	502	3.0
営業利益	80	79	1.1
経常利益	83	85	△ 2.1
当期純利益	53	53	0.3

### <単体>

売上高	495	481	2.9
営業利益	72	73	△ 1.5
経常利益	82	86	△ 3.8
当期純利益	55	54	0.7



## 平成20年度 第1四半期決算：財政状態(連結)

(単位:億円)

＜財政状態＞		20年6月期 実績	20年3月期 実績	増減
総	資産	4,206	4,137	69
純	資産	3,459	3,422	37
自己資本比率		82.2%	82.7%	△ 0.5%
1株当り純資産		1,031円66銭	1,020円31銭	11円35銭

### ■ 総資産

- 株価の上昇により、投資有価証券が増加した。

### ■ 純資産

- 株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が増加した。



## 平成20年度 第1四半期決算: キャッシュ・フローの状況(連結)

＜キャッシュ・フローの状況＞	20年4-6月 実績	19年4-6月 実績	増 減
営業活動によるC / F	86	3	83
投資活動によるC / F	△ 38	△ 19	△ 19
財務活動によるC / F	△ 42	△ 29	△ 13
計	4	△ 45	49
現金等期末残高	678	700	-

### ■ 営業キャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益は微減であったが、必要運転資金の減少等により、前年同期より大きく増加した。



# 平成20年度 第1四半期決算：セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	20年 上期 計 画	20年 4-6月 実 績	対上期 進捗率%	19年 4-6月 実 績	対前年 同 期 UP率%
<b>医療用医薬品</b>	765	380	49.8	378	0.5
フロモックス	115	61	53.2	65	△ 5.8
クレストール	80	38	47.4	19	99.9
リンデロン等外用	53	26	48.9	27	△ 2.4
フルマリン	56	25	44.4	30	△ 17.3
塩酸バンコマイシン	48	23	48.9	30	△ 22.2
イムネース	53	20	38.5	32	△ 35.4
オキシコンチン	39	20	52.5	16	27.7
クラリチン	33	18	53.1	16	6.4
イルベタン	6	8	129.7	-	-
フィニバックス	16	6	38.4	5	16.5
アベロックス	11	4	38.0	4	14.2
<b>輸出・海外事業</b>	37	19	52.2	15	25.4
<b>製造受託</b>	29	12	41.9	9	22.5
<b>一般用医薬品</b>	28	14	51.1	14	△ 2.6
<b>診断薬</b>	17	9	54.3	9	0.6
<b>工業所有権等使用料収入</b>	170	75	44.4	69	9.5
クレストール	160	72	45.2	67	8.3
<b>不動産賃貸・その他</b>	14	6	43.7	5	14.5
<b>合計</b>	<b>1,060</b>	<b>517</b>	<b>48.8</b>	<b>502</b>	<b>3.0</b>



# 平成20年度 第1四半期決算：損益計算書概要（連結）

（単位：億円）

	20年上期 計 画	20年4-6月 実 績	対上期 進捗率%	19年4-6月 実 績	対前年同期 UP率%
売上高 (ロイヤルティ)	1,060 ( 170)	517 ( 75)	48.8 44.4	502 ( 69)	3.0 ( 9.5)
	30.2 (36.0)	32.0 (37.4)		32.1 (37.2)	
売上原価	320	165	51.7	161	2.6
売上総利益	740	351	47.6	341	3.2
	53.3	52.4		52.0	
販売費・一般管理費	565	271	48.0	261	3.8
販売・管理費	325	166	51.1	163	1.4
研究開発費	240	104	43.7	97	7.8
	16.5	15.6		15.9	
営業利益	175	80	46.2	79	1.1
営業外損益	-	2		5	
	16.5	16.2		17.0	
経常利益	175	83	47.8	85	△ 2.1
特別損益	-	0		2	
税金等調整前当期純利益	175	82	47.3	88	△ 5.9
税金費用他	65	28	44.5	34	△ 15.5
	10.4	10.4		10.7	
当期純利益	110	53	49.0	53	0.3





## 平成20年度 第1四半期決算：損益計算書の主なポイント（連結）

### 売上高

+3.0%

■本年4月の薬価改定による平均4.3%の薬価引き下げや、ジェネリック医薬品の台頭などにより、既存品目の売上が減少となったが、主力品目の Crestor や Oxidolone がマーケットシェアを着実に拡大し、医療用医薬品の売上高は前期比で0.5%増となった。

また、海外における Crestor の販売が拡大したことにより、工業所有権等使用料収入が増加し、売上高全体では前期比3.0%の増となった。

### 営業利益

+1.1%

■売上総利益は前期比で3.2%増加したが、一方で研究開発費が前年度比7.8%と増加したこともあり、営業利益は前期比微増にとどまった。

### 経常利益

△2.1%

■営業利益は微増であったが、為替差損の影響などもあり、前期比で2.1%の減益となった。

### 当期純利益

+0.3%

■税金等調整前当期純利益は微減であったが、税金負担率が改善したことにより、当期純利益はほぼ横ばいとなった。



## パイプラインの進捗状況（平成20年3月期決算発表時以降）

### 開発段階の進展

- イルベタン®（SR-47436, 高血圧）
  - ◆ 2008年7月1日発売
- S-4661（フィニバックス, カルバペネム系抗生物質）
  - ◆ 新規に重症感染症に対する用法・用量（1g×3回/日）試験の開始
  - ◆ 2008年7月から国内でPh3を開始
- S-021812（ペラミビル, インフルエンザ）
  - ◆ 主要エンドポイント（インフルエンザ罹病期間）において、プラセボとの優越性を確認（POC取得）⇒ Ph3準備中
- S-349572/S-265744/S-247303（HIV感染症）
  - ◆ 2008年6月からS-349572のPh2aを開始
- S-555739（アレルギー疾患）
  - ◆ 2008年7月から欧州でPh1を開始（国内:Ph1実施中）

### 導出品の状況

- S-3013（動脈硬化）
  - ◆ 導出先のアンセラ社によりPh2実施中

### 導入品の状況

- ディフェリン®（アダパレンゲル, にきび）
  - ◆ 2008年7月ガルデルマ社が承認取得



# パイプライン一覧 (2008年7月現在)

	Ph I / Ph IIa	Ph IIb	Ph III	申請	上市
重点3領域		S-013420 (細菌感染症)	フィニバックス® (小児感染症)	ドリペネム (EU/US RTI)	ドリペネム (US cIPI, cUTI)
	S-349572/S-265744/ S-247303 (HIV感染症)		フィニバックス® (用法・用量追加)		フィニバックス® (2005年度)
		S-021812(ペラミビル) (インフルエンザ)			アベロックス® (2005年度)
感染症					
疼痛			デュロキセチン (DNP)		オキノーム® (2006年度)
MS		S-2367 (肥満)			クレストール® (2005年度)
		S-3013 (動脈硬化)		(2008年7月発売)	イルペタン® (高血圧症)
フロンティア領域	S-777469 (アトピー性皮膚炎)				クラリチン® ドライシロップ (2007年度)
アレルギー	S-555739 (アレルギー疾患)				
	S-888711 (血小板減少症)			ピルフェニドン (特発性肺線維症)	→ (2008年度)
その他	S-0373 (脊髄小脳変性症)			(2008年7月承認) デイフェリン® (にきび)	
	S-0139 (脳血管障害)			デュロキセチン (うつ)	→ (2009年度)
	NS75A (子宮筋腫)	NS75B (前立腺肥大症)			セトロタイド® (2006年度)

RTI: 呼吸器感染症, cIPI: 複雑性腹腔内感染症,  
cUTI: 複雑性尿路感染症, DNP: 糖尿病性神経因性疼痛

自社品
導出品
導入品
自社創製グローバル開発品